

本事業の全体目標は、タイ国内のキャンプに滞在しているミャンマー避難民に教育支援を実施することにより、彼らがミャンマーに帰還した後に、自立した生活を送ることができるようにすることです。

具体的な事業は、タイ北部のミャンマーとの国境にあるメーホンソン県ナイソイに1980年代から存在するミャンマー避難民キャンプ（キャンプ1）において、キャンプ内の学校施設の改善と、コミュニティ・リーダーを育成するコミュニティ・ディベロップメント研修を実施するものです。

なお、ナイソイ地区に隣接してキャンプ（キャンプ2）があるが、初年度はキャンプ1を対象とし、次年度以降はキャンプ1、キャンプ2で事業を進める予定です。

これらの避難民キャンプには小学校、中学校、高等学校が設置され、児童・生徒に教育が提供されています。しかし、ミャンマー国内の政治状況にも左右され、かつ、いずれの教育施設も環境が劣悪であるため、彼らが将来に自立した生活を営めるだけの十分な教育効果が得られているとは言い難いものです。

加えて、彼らがミャンマーに帰還後のコミュニティにおいて、自らの努力によって自立的な生活を営めるようにするための教育が求められています、そのため、コミュニティ・リーダーを育成するコミュニティ・ディベロップメント研修を、避難民の高校生、大学生そして一般避難民に行うものです。

本プロジェクトは、現地の避難民キャンプの学校教育関係者ならびに社会教育関係者（直接・間接裨益者）のニーズに即して、教育の改善・発展を図るものです。